

園芸作物の生産にかかる各種支援について

項 目	支 援 内 容	お問い合わせ先
技術習得等の研修	・就農実践コース(1年制) ・ニュー農業塾・園芸参入塾(かぼちゃ・ねぎ・小菊)	普及課
新規就農者への支援制度	・農業次世代人材投資資金(準備型) ・農業次世代人材投資資金(経営開始型)	普及課
	・青年等就農資金 ・新規参入者経営安定資金	
認定農業者・法人等への支援制度	新潟県農林水産業総合振興事業等の補助金	農林課
	十日町市複合営農促進事業補助金(機械等の助成)	
セーフティネット	・収入保険への加入・手続き ・園芸施設共済等への加入・手続き	中魚沼NOSAIセンター
各種相談・基金	・肥料、出荷等の相談 ・園芸基金の活用手続き(機械等の助成)	園芸畜産課

詳しくは、お電話でお問い合わせください

機 関 名	住 所	お問い合わせ先	電話番号
県十日町農業普及指導センター	十日町市妻有町西2-1 十日町地域振興局内	普及課	(025)757-5516
十日町農業協同組合(JA十日町)	十日町市高田町6丁目618 十日町営農生活センター内	園芸畜産課	(025)757-1573
	十日町市桔梗原キ1741	花卉野菜集出荷センター	(025)763-3700
十日町市	十日町市千歳町3丁目3番地 (市役所本庁舎2階)	農林課 作物振興係	(025)761-7144
NOSAI新潟	十日町市北新田169番地1	中魚沼NOSAIセンター 園芸施設共済係 収入保険係	(025)752-2264

十日町市は新潟県園芸振興基本戦略を基に、「米」の一本足に依存しない「米＋園芸」の複合営農を促進し、代表的な園芸作物(野菜・花き等)の産地化を図ることで、農家の経営安定と所得向上を目指しています。

十日町市は、「ねぎ」の産地化を推進しています

「やわ肌ねぎ」は、JA全農にいがたがブランド化する新潟県の推進品目です。



県十日町農業普及センターは、生産者増加、面積拡大と交流を図ることを目的に、ベテラン農家を講師に「ねぎ塾」を開講しています。



新規生産者が安心して取り組めるように、塾長を中心にベテランが「育苗」を担っています。



塾生と一緒に畑を巡回し、成育を見ながら必要なアドバイスをを行います。



昨年は全5回の塾を行い、生育状況を確認しながら品質向上のためのポイントを共有しました。



JA十日町ねぎ生産組合
上原 忠吉さん(ねぎ塾塾長)

一緒にねぎを作りましょう！

【これからねぎ生産を始める皆さんへ】

栽培は3月から始まります。は種・定植を行い、土寄せをしてから、稲刈り前に収穫期が訪れます。収穫できる期間は長く、農家の都合に寄り添ってくれるので負担は少ないです。獣害に悩まされたことは一度もありません！

【ねぎの栽培暦】

3月上・中旬：は種
5月上・中旬：定植
9月～11月：収穫・出荷

目指せ！
販売額1億円!!



※撮影用にマスクをはずしてもらっています。

十日町市は、「かぼちゃ」の産地化を推進しています

県内市町村で、十日町市は「かぼちゃの生産量ナンバー1」です！



塾(第1回)で、ポット苗移植のコツを塾生に実演。しっかりと苗を育てることが何より重要です。



品種「くりゆたか」の苗定植作業の様子



収穫後のくりゆたかは、一定の風乾と磨きが必要です。



J A十日町かぼちゃ生産組合
水品 成良さん(かぼちゃ塾塾長)

一緒にかぼちゃを
作りましょう！

【これからかぼちゃ生産を始める皆さんへ】

栽培は4月から種まきが始まり、7月から収穫を行います。収穫は手作業のため、出来が良いとずっしりと重くなって大変ですが、その分喜びも大きいです。生産に慣れてきたら、業務用のかぼちゃにもチャレンジしていきましょう！



「栗」のようなホクホクさがあります。甘いのでお菓子にも使用されます。

【かぼちゃの栽培暦】

4月上旬：は種
5月上旬：定植
7月～8月上旬：収穫・出荷

十日町市のかぼちゃを活用した新しいお土産が誕生しました！



100%新潟県十日町産かぼちゃと、100%新潟県十日町産魚沼コシヒカリの米粉を使用した新感覚のかぼちゃスイーツ「新潟生まれ スイートカボチャ」、素朴なかぼちゃのほのかな甘みをお楽しみいただけるよう仕上げました。

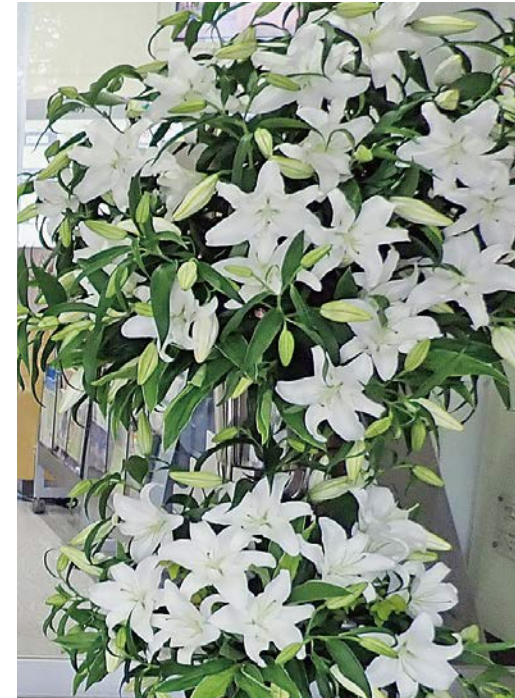
販売価格 1箱(個包装5個入り)
税込864円予定

十日町市、JA十日町と連携し、十日町市産のかぼちゃと米粉を使用し、十日町の工場で開発・製造したお土産商品「新潟生まれスイートカボチャ」を3月1日より、東京駅を中心としたお土産ショップ「HANAGATAYA(ハナガタヤ)」で販売します。とおかまち発の新たなお土産として、ぜひお求めください！

株式会社 JR東日本クロスステーション 十日町すこやかファクトリー

十日町市は、「切り花」の産地化を推進しています

カサブランカ(ユリ)



純白の大輪が魅力的なカサブランカは、「ユリの王様」と呼ばれています。



J A十日町ブランド
「雪華美(ゆきはなび)」



J A十日町切り花部会 高野 茂実さん
(新潟県指導農業者)

露地栽培のほか、温泉の温水熱利用によるハウス栽培で、年間6万本を生産しています。5月から11月まで、JAを通じて他の仲間と全国に出荷しています。十日町市ならではの品質の優れた「カサブランカ」の生産技術をお伝えし、産地を守り継いでいきたいと思っています。
(後継者を探しています)

小菊(コギク)



生産者 大 淵 智 明 さん



試験栽培した品種



年間約40種類、40万本以上を生産しています

7月から11月にかけて露地栽培しています。主に関東・関西方面に出荷をしています。蕾の状態を確認後、根本付近で切り、規格を分別します。彼岸やお盆などのピークに合わせて生産量と生育を管理するのが難しいですが、やりがいもあります。種苗会社から、新品種の試験栽培を頼まれることもありますが、仲間の助けで頑張っています。

「切り花(カサブランカ・小菊)」を新たに生産したい方を
募集しています！
興味のある方は、一度ご連絡ください!!

J A十日町 花卉野菜集出荷センター 電話 025-763-3700

切り花を**購入**したい方も
ご連絡ください!